

地区目標

「美しい心、ロータリアンの矜持
～修養、友情、情熱、奉仕、平和、感動～」

クラブテーマ

「あなたのロータリーをみつけよう」

- ◆点鐘：半田 稔 会長
- ◆ロータリーソング：蔵王を仰ぐ
- ◆司会：東海林仁 副 S.A.A.
- ◆会場：大沼デパート



ロータリー：
変化をもたらす

第2789回例会 平成29年11月6日(月)



会長挨拶

半田 稔 会長



ロータリー財団

今月はロータリー財団月間ですので、ロータリー財団についての話をします。

ロータリー財団は、1917年に国際RC連合会の会長であったアーチC. クランフ氏が、ロータリーで寄付による基金を作り、世界的規模で社会奉仕をしよう、と提唱し、「ロータリー基金」が創設されたことに始まります。当初は寄付が集まらずにいたのですが、1947年にポール・ハリスが亡くなったところ、世界中のロータリアンが彼の偉業をたたえて多額の寄付を送ってきて、大きく発展するようになりました。この間、1928年に「ロータリー財団」と改称され、1983年にアメリカ・イリノイ州の財団法人になりました。

ロータリー財団の特徴は、年次寄付を中心に運営されているという点です。世の中にある財団・基金のほとんどは、篤志家の方などが提供した多額の基本財産を運用した利益で運用されています。しかしロータリー財団は、毎年の中でのロータリアンの寄付金で運用されています。したがって、私たちの寄付額により、行える事業内容が決まってくるのです。

しかし日本では、ロータリー財団の主たる活動が、ポリオワクチンをはじめ、水と衛生とか、識字率向上とか、開発途上国の援助に向けられていて、寄付の成果が目に見えず、なかなか寄付の動機につながらない、ということもお聞きします。

そこで、地区で寄付した額の半分が3年後に地区に戻ってきて、さらにその半分は地区の裁量で使える、もう半分は地区が企画した国際奉仕活動に使えるようになりました。当クラブの石巻復興支援芋煮会も、この地区補助金の援助を受けています。

ただし、ロータリー財団への寄付をお願いするときにこの点を強調する方がいるのですが、私はあまり賛成できません。なぜなら、ロータリー財団に寄付しないでクラブの基金にでもすれば、100%クラブの事業に使えるのですからね。

ロータリアンであればこそ

そこで、ロータリー財団に寄付するのは、ロータリアンだから、と考えていただければ幸いです。私たちがRC、ロータリアンを名乗れるのは、国際ロータリー(RI)に承認してもらっているからです。ロータリアンであることで、世界的には高い評価を受けているのです。そしてRIがロータリー財団への協力を呼びかけている以上、ロータリアンである私たちにも協力する義務があるのではないのでしょうか。ロータリー財団が世界社会奉仕に貢献しているのは間違いなく、それに参加しているということに、ぜひ満足感を抱いていただきたいと思います。

幹事報告

五十嵐 信 幹事

- ロータリーレートは、今日から1ドル114円です。
- 本日は理事会があります。理事とオブザーバーの富田委員長、遠藤正明委員長、佐藤委員長、3名も出席をお願いします。
- 12日は寒河江で地区大会があります。参加者は44名。大型車で1台で行きます。後藤会計が隊長となります。
- 今日は第1例会ですが、ネルソン君は、来週から修学旅行に行きますので、奨学金と就学旅行への気持ちをお渡します。

委員会報告

親睦・家族委員会

戸田 佳瑞 委員

会員の方が14名、奥様が5名、11月に誕生日を迎えられます。おめでとうございます。

プログラム委員会

原田 久雄 委員

先日卓話をいただきました和田様主催の「第3回おやじ日本山形大会」が11月18日土曜日、ヒルズサンピア山形にて開催になります。なお、参加は無料で、チケット5枚ほど手元に用意してありますので、ご希望者は帰りにでも事務局へ声をかけていただければと思います。

青少年委員会

佐藤 英一 委員長

『ガバナー月信』に、前回のオータムキャンプで蔵王のお釜に行った時のインバウンドの方々との写真が載っておりますので、ご案内させていただきます。

10月29日羽黒山の宿坊三光院において、第3回の青少年交換・学友小委員会が開かれました。当日の委員会にはインバウンドが4名と、海外留学された方が2名、次年度の候補学生が5名とそのスポンサークラブに参加していただいて、鈴木一作ガバナーを含めて総勢39名で開催されました。留学された2名からの帰国報告が主だった内容でした。羽黒山、出羽神社を参拝し、宿坊では留学期間中の安全祈願、護摩祈祷を受けてきました。

ロータリー財団委員会

長澤 裕二 委員長

11月はロータリー財団月間です。みなさん全員100ドルがいいですので、確実にお願いしたいと思います。

会員卓話

橋本 徳光 氏



「奉仕」という2文字に、多少のアレレギーと申しましょうか、そういったものがございまして、奉仕について、奉仕をさせていただく、もしくは奉仕をする、そういった言葉に対して、どうも胸のつかえがあり、腹に収まっていない状況でした。そんな中一昨年、職業奉仕委員会に所属させていただき、1年間大変お世話になりながら副委員長を務めさせていただきました。そんな折、地区セミナーのご案内をいただいて、出席いたしました。いろんな方々のお話を拝聴させていただいた後、テーブル毎に討議することになり、たまたま私のテーブルには、ご高名な長谷川憲治さんが加わり、不安そうな顔をしていた私にお声をかけて下さいました。「橋本さん、この職業奉仕というのをあまり難しく考えないで欲しいんだ。仕事をして、お客様に喜ばれることがあるでしょう。それが職業奉仕なんだ。」と話して下さいました。

平成4年に会社を創業させていただき今日に至るまで、北は北海道美唄、南は九州、沖縄、全国の取引先の皆様に支えられ、商いをさせていただいているということは、何がしかお役に立てている、もしくは喜んでいただいているのではないかと考えております。

11月に入り、就職活動まっただ中で、弊社にも毎年数名の新入社員が入社下さいます。「君は何のために仕事をするのか?」と必ず尋ねます。当然いろんな答えが返って来ます「仕事の目的はお客様に喜んでいただくこと。この1点しかない。」というお話をします。その中で素晴らしい経営者、優秀な経営者、大きな成功を収める方々は、お客様に喜んでいただくというこの1点を絶対に外さない。また「せっかく社会に出るのだから一流になりなさい。」このフレーズを強烈に印象づけてくださったのは、恩師である河村博旨先生です。一流になるためには、メモを取る。お見送りをする。手紙を書く。1つ目、全身全霊をもってメモを取りなさい。相手の目を見て、うなずきながら、相槌を打って聞くということ、2つ目「迎え三步の送り七歩」のお見送り、3つ目、1年に手紙を1000通書いて10年続けることができたら素晴らしい人脈がその時にできている。そんなことを強烈な印象で教えていただきました。この歳になりますと、このようなことが一流への道筋なのかと、少し分りかけてきたような感じがいたします。

お客様はじめ地域社会、地域社会の皆さまのお役に立ち、ロータリーの職業奉仕という理念に多少なりと通じるところがあるのであれば大変有り難いことだと思っております。今後ともいろんな形で、いろんな教を請いながら務めて参りたいと思っております。

次年度理事役員候補者報告

会長エレクト／三澤 裕一

副会長／鈴木 浩司 理事／高橋 勝治、坂部 登

幹事／菅原 茂秋 長澤 裕二、富田 浩志

会計／三沢 大介

<本日出席・修正出席>

	会員総数	出席会員数		会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日出席 (11/6)	102名	61名	修正出席 (10/16)	102名	89名	85名	95.51%
メイクアップされた会員	(山形南) 酒井 啓孝 (山形中央) 小松 公博、伊藤 義彦、木村 孝、浦口 太門 (山形北) 長岡 壽一、風間 義朗、橋本 徳光、安部 弘行、木村 孝、武田 良和、門馬 孝 (山形) 遠藤栄次郎、細谷 伸夫、遠藤 靖彦、晋道 純一、海和 浩運、武田 博文 (山形北) 伊藤 歩、遠藤 靖彦、富田 浩志、高田 元						

会員卓話

高嶋 俊幸 氏



自己紹介も兼ねて、お話をさせていただきたいと思っております。

昭和51年6月生まれで41歳になります。生まれは山形市、祖父は、村山市生まれで絵を描いておりました。父は東京で生まれ育ち、第2次世界大戦の戦火を逃れて、山形に辿りついたというような形です。祖母も山寺の出身だったので、元々、山形にはゆかりがあったという形になっています。父親は学校の先生で、母は美容師をやっていました。二人兄弟の次男です。

高校まで山形市内で育ちまして、千葉のほうの大学に行きました。その後、地元に戻って、山形市役所で4年間働いて、いろいろ思うところがあって、不動産鑑定士の資格を取りに上京。39歳までの12年間くらいを東京で過ごしました。

個人事務所で働きながら合格するのは難しく、ちょうど試験制度も変わるタイミングで、半年ぐらい仕事を辞めて勉強に専念し、平成19年に不動産鑑定士試験に合格しました。その後、実務修習を経て、鑑定士登録したのが平成22年です。2年前に知り合いの伝手で、東京の準大手規模の鑑定事務所に実務修習期間も含めると7年間くらい働いておりました。2年前にそこを退職して山形の実家を、事務所登録という形で、今肅々と鑑定業務を行っています。

趣味は、ゴルフとスキーです。ゴルフは東蔵王のメンバーにもなりましたが、今年はあまり機会がないのですけれども、月例に出たりしてとか、いろいろゴルフを楽しんでいます。あとはご存知かどうか、一口馬主という、1頭の馬を400人で費用関係を含めて持ち、レースに出て賞金が出ればそれを配当する。純粋に馬が好きな部分があって、一口馬主をさせていただいております。

昨今、新聞等でありますように、不動産バブルなんてよく言われています。山形市もだいたい地価上がってきていまして、市全体で上昇に転じているような話もあります。

山形に戻ってからは、主に地価公示や地価調査、年に何回か半期に1度、価格の指標、各市町村の固定資産税の評価額、相続税、裁判所の競売評価など評価に関する公の仕事が多いです。

鑑定士試験に受かるタイミング、市役所を辞めるタイミングで背中を押してくれた方、ターニングポイントで人との関わりとか交わりなどが必ずあると思います。そういったものをこの山形西ロータリークラブで、見つけていきたい。当初、お話をいただいた武田周治さんとの関わりも一つのきっかけになり、大切な出会いだったと思っております。これからもよろしく願います。

ニコニコBOX

長澤裕二さん・東海林健登さん／今月は、ロータリー財団寄附強化月間です。皆様、ご寄附宜しく願います。

細谷伸夫さん／この度勲章を受章しました。これも会員の皆様の御指導により職業奉仕に基づき、仕事を続けられたからと感謝申し上げます。

佐藤章夫さん／細谷さん叙勲おめでとうございます。ますますのご活躍を祈ります。

伊藤義彦さん／同じ町内の細谷さんの叙勲おめでとうございます。同じ町内人としてたいへん嬉しく光栄に思います。